

第42回全日本少年軟式野球大会 ENEOSトーナメント
愛媛県予選会開催要項

1. 主催 一般社団法人愛媛県軟式野球連盟
2. 共催 愛媛新聞社
3. 主管 松山市軟式野球連盟
4. 後援 愛媛県・愛媛県教育委員会・松山市・松山市教育委員会・愛媛県中学校体育連盟
5. 協力 中予地区中学校軟式野球部
6. 会期 令和7年3月22日（土）、23日（日）、26日（水）
7. 会場 坊っちゃんスタジアム・マドンナスタジアム
8. 試合方式 (1) 全ての試合はトーナメント方式7回戦とし5回以降7点差及び、降雨のコールドゲームを適用する。
(2) 規定のイニングを終了し同点の場合はタイブレーク（無死一・二塁）とする。
(3) 2025年公認野球規則及び、大会規定に基づくものとする。
(4) 投手の投球制限に関する事項（別紙、大会運営規定へ記載）に留意すること。
(5) 指名打者制を採用する。（公認野球規則5.11）
9. 参加資格 中学校に在籍する生徒によって編成され、東予ブロック（5）・中予ブロック（6）・南予ブロック（5）代表チームの計16チームとする。
10. 申込期限 令和7年3月7日（金）までに必着するよう、申込書を下記宛てへ送付すること。
〒790-0845 松山市道後今市6-18 ジョイフル第3今市
愛媛県軟式野球連盟松山支部事務局
TEL 089-995-8955 FAX 089-995-8966 Email.mrbb@crest.ocn.ne.jp
※参加申込書の様式等は各支部へメールにて送付します。
11. 組合せ抽選 松山支部にて責任抽選を行う。
12. 参加料 15,000円（大会第1日目の受付けの際、納入する。）
13. 使用球 全日本軟式野球連盟公認マルエスM号球（マルエス株式会社製）
14. その他 (1) 投手の投球制限については大会運営規定に記載事項に注意すること。
(2) 代表者会議は行わない。
(3) 大会第1日目の午前8時30分より坊っちゃんスタジアムにおいて開会式を行うので、出場チームは全員、ユニフォームで参加すること。
但し、芝生の養生のためスパイクは禁止とし、アップシューズ等を使用すること。
尚、雨天の場合、開会式は「屋内練習場」にて行なう。
(4) 本大会の上位2チームは、5月17日（土）、18日（日）高知県にて開催の第42回全日本少年軟式野球四国大会への出場権を得る。
(5) 参加チームは別紙の球場使用上の注意事項を厳守すること。
(6) 弁当、飲み物等のゴミは必ずチームにて持ち帰ること。

大会運営規定

1. 各チームとも試合開始 30 分前までに集合すること。
2. ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
3. 試合中ベンチへ入ることのできる人員を次の通り制限する。
責任者、監督、コーチ、登録選手、マネージャー、スコアラーの計 31 名以内とする。
4. 試合前のシートノックは 5 分以内とし、ノッカーは必ずユニフォームを着用すること。なお、大会運営上シートノックを行わないで試合をすることがある。
5. 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。
トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。但し、天然芝上では行わないこと。
6. バットリング、マスコットバットは使用しない。
7. 試合回数は全試合トーナメント方式 7 回戦とし、5 回以降、得点差、降雨、日没の
コールドゲームを適用する。
8. 規定のイニングを終了し同点の場合は特別継続試合とし、タイブレークとする。
{*タイブレーク}
継続打順の無死一、二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二
塁走者は順次前の打者とする。
9. 同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
 - (1) 同一日に投手が投球できる投球数を 100 球以内とする。
 - (2) 但し、投球中に 100 球に達した場合は、その打者の完了までとする。
 - (3) 同一日に 2 試合を行う場合、第一試合の勝者は第一試合に登板した投手の投球数を
大会本部にて確認しておくこと。
10. 指名打者制を採用する。(公認野球規則 5. 11)
11. 大会使用球は、全日本軟式野球連盟公認球 M 号とする。
12. メンバー表は 6 部提出し、前の試合の 4 回終了後、大会本部にて交換する。
13. 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳つきヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レガーズ、ファウルカップを必ず着用すること。
14. 上記及び金属バット、捕手用マスクは公認マーク入りスロートガード付きのものを
使用すること。
15. 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム(背番号 0 番から 99 番までとし、監督
30 番、コーチ 29 番、28 番、主将 10 番とする。)を着用すること。
16. 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
17. 試合に勝ち残ったチームは、大会本部で次の日程を確認しておくこと。
18. 本規定に定めていない事項、明確でない事項は、公益財団法人全日本軟式野球連盟
の定める規定・規則による。